

B-1 単元の指導・評価計画

単元の指導・評価計画（総時数5時間）

次	小単元名 及び目標	主な学習活動	自然事象への 関心・意欲・態度	科学的な思考	観察・実験の 技能・表現	自然事象につい ての知識・理解
一 (3)	『食物は何に変わるのか』 「食物にふくまれるもの・食物の消化」 ・だ液による消化などの実験を行い、動物の体には消化液のはたらきで栄養分を分解するしくみがあることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・食物にふくまれる栄養分について考える。 ・だ液のはたらきの実験方法の説明を聞き、理解する。 ・だ液のはたらきについての実験を行い、だ液がデンプンを糖に変えることを理解する。 ・消化液および消化酵素について説明を聞き、消化の意味とそれぞれの栄養分がどこで何に消化されるかを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食物中の栄養分がどのように体内に取り込まれるかについて興味をもち、積極的に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・だ液のはたらきを調べる実験結果から、糖の生成を推論することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対照実験を設定して、デンプンを分解するはたらきを調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食物にはどんな物質が含まれているのかを説明できる。 ・おもな消化液および消化酵素について、そのはたらきを説明できる。 ・それぞれの栄養分がどのような物質に変化するのかを説明できる。
二 (2)	『食物は何に変わるのか』 「栄養分の吸収」 ・消化された栄養分が、小腸から吸収されるしくみについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・小腸のつくりと柔毛のはたらきについて、栄養分の効率的な吸収と関連づけて理解する。 ・ヒトの消化管とそのつながりやそれぞれのはたらきを知り、消化された栄養分がどのような経路で吸収されるのかを理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・小腸の内側に多数の柔毛がある理由を、栄養分の効率的な吸収と関連づけて考察することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・小腸のつくりと柔毛のはたらきについて説明できる。 ・ヒトの消化管とそのつながりやそれぞれのはたらきを説明できる。 ・消化された栄養分がどのような経路で吸収されるのかを説明できる。

